

(別紙3) プロポーザル方式における審査の項目

	評価項目	評価の視点	指標	配点
組織評価	業務執行技術力	当該業務を遂行するために必要な知識・経験	同種業務の実績等	15
	実施体制	適切な業務を提供できる実施体制か	担当者数、担当者の配置、構成等	5
提案内容評価	基本方針	業務の理解度はあるか	目的・条件・内容の理解度が高く、簡潔に記載されているか	5
	業務の実施手続き	業務実施手続きを示す業務フロー又は工程表等は妥当か	実施フロー又は工程表等の的確性	5
	利便性	システムの構成、操作性、処理速度	提案書、プレゼン	35
	業務改善	導入により管理、運用面で効率化が見込まれる提案がなされているか。	提案書、プレゼン	40
	セキュリティ対策	情報セキュリティ対策に関する考え方	提案書、プレゼン	10
	導入支援、フォロー体制	導入時の操作研修、サポート体制	提案書、プレゼン	10
	保守体制	日常及び緊急時の保守体制、動作環境の変更に伴うシステム継承	提案書、プレゼン	15
	取組み姿勢(ヒアリング)	積極的に取組む意欲を感じられるか	業務への意欲、積極性	5
その他提案	仕様書以外で、本市に有益な提案がなされているか	仕様書外の提案	5	
事業費評価	事業費の経済性	(1 - 提案者の見積金額 / 見積上限額) × 25 ・ 導入費用及び維持管理運用費用 (1年間分) ・ 維持管理運用費用 (2~5年間分)	提案事業費額	50
合 計				200

最低基準点を設け、提案の全てがこれを下回る場合は契約を行わず、再度公募を行う。
 なお、最低基準点は事業費評価を除いた150点のうち6割(90点)とする。